

〔 名前 〕	松浦 満夫
〔 職位 〕	教授、教務学生部次長
〔 保有学位 〕	社会福祉学士
〔 担当科目 〕	社会福祉、社会的養護Ⅰ、社会的養護Ⅱ 障がいの理解 A、B 保育実習指導ⅠおよびⅢ <施設実習> 保育実習Ⅰ、保育実習Ⅲ、教育実習Ⅰ 卒業研究Ⅰ,Ⅱ(2年)、保育実践演習Ⅰ,Ⅱ(1年)
〔 専門分野 〕	社会福祉、地域福祉、障がい者福祉、 児童福祉、社会的養護 相談援助(ソーシャルワーク) 施設実習指導(施設)
〔 学外活動 〕	福井県若狭町介護保険認定審査会 委員(16年目) 福井県若狭町障害程度区分認定審査会 委員(14年目) 2015年度大阪市 利用者支援専門員研修 講師(主担) 2017年度 大阪市東住吉区子育て力アップ「キャッチ & フォロー」事業委託事業 選考委員 2017年度 大阪府社協児童施設部会・保育士養成校 研究懇談会(幹事)継続中(4年目) (シンポジウムの企画、話題提供、進行)
〔 主な教育・研究業績 〕	◎分担執筆『保育における相談援助・相談支援』 (2011年 安田、立花 編 晃洋書房 p258~268) ◎分担執筆『日韓幼児教育・保育・福祉分野専門職 養成のボーダレスネットワークの形成』 (2012年 大阪城南女子短期大学 研究紀要 46巻) ◎分担執筆『保育現場で役立つ相談援助・相談支援』 (2013年 立花、安田 編 晃洋書房 p259~269) ◎分担執筆『韓国における幼児教師の養成と養成校の 課題』 (2013年 大阪城南女子短期大学 研究紀要 47巻 p29~37) ◎分担執筆『保育の質を高める相談援助・相談支援』 (2015年 立花、安田、波田埜 編 晃洋書房 p224~231)

- ◎分担執筆『児童家庭福祉論』
(2015年 立花、波田埜 編 ミネルヴァ書房 p 76～90)
- ◎分担執筆『施設実習を通じた学生の変化と学び』
(2015年 大阪城南女子短期大学 研究紀要 49巻
p 137～154)
- ◎分担執筆『保育実践を深める相談援助・相談支援』
(2017年 立花、安田、波田埜 編 晃洋書房 p 248～256)
- ◎分担執筆『児童家庭福祉論』[第2版]
(2017年 立花、波田埜 編 ミネルヴァ書房 p 80～94)
- ◎分担執筆『(新はじめて学ぶ社会福祉) 社会福祉概論』
「第14章 ノーマライゼーションの現状と諸課題」
(2017年 立花、波田埜 編 ミネルヴァ書房 p 173～185)
- ◎分担執筆『はじめて学ぶ保育シリーズ⑪ 施設実習』
「第8,11,12章 障害児者入所施設での実習」
(2019年 立花直樹 編 ミネルヴァ書房 p 86-96,134-139)
- ◎分担執筆『保育者の協働性を高める子ども家庭支援・子育て支援』
(2019年 立花、安田、波田埜 編 晃洋書房 p 261～268)

- ◎専門職実務経験 23年間（施設長歴 9年間を含む）
10年間で、障がい者総合福祉施設2ヶ所の開設から事業運営まで、施設長として中心的に携わる。
- ◎福井県嶺南地域では初の、厚労省指定「障害児者地域療育等支援事業」「知的障害者生活支援事業」の立上げを手がけ、同地域での障がい児者、家族の相談活動と地域生活支援を展開する。
(当時では全国でも珍しい「障がい児サマースクール」を開始。障がい者ケアホームを2ヶ所開設)